

令和3年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 まち資源 室 文化振興 課

1. 基本情報

1004

施設名	伊丹市立工芸センター							
施設の設置目的	工芸（クラフト）を通して市民の豊かな暮らしを創出するとともに産業の振興と文化の発展を図る。							
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱：市民力・にぎわい・活力 施策：歴史・文化 実施施策：芸術・文化活動の促進							
指定管理者の名称	公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 <small>（団体の住所又は所在地） 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（東りいたみホール）内</small>							
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日						
管理運営上の目標 <small>（管理運営の指定管理者の具体的目標）</small>	指標名	実施事業数						（単位： 回 ）
	指標の意味	年間の企画展、講座等の実施数						
	今年度の目標値	20		今年度の実績値	23			

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H29	H30	R元	R2	R3 (上期)	R3 (通期)
	来館者数（人）		38,186	55,125	66,843	51,881	11,271	0
延べ事業開催回数(回)		61	104	108	100	38	18	23
延べ事業参加者数(人)		21,574	36,319	45,715	36,132	8,675	771	1,980

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

〈単位:千円〉

		区分	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	3カ年 平均	
指定管理者の収支	収入	使用料収入	255	8	0	88	
		事業収入	14,033	3,509	2,200	6,581	
		その他	1,077	2,566	136	1,260	
		指定管理委託料	51,237	45,725	35,943	44,302	
		①合計	66,602	51,808	38,279	52,230	
	支出	維持管理	光熱水費	3,317	2,197	0	1,838
			清掃等委託料	3,548	2,549	1,381	2,493
			土地建物賃料	0	0	0	0
			修繕料	231	319	78	209
		運営	人件費	42,895	36,444	31,280	36,873
			事業等経費	17,858	4,379	4,340	8,859
			その他	202	146	154	167
			指定管理納付金	0	0	0	0
			②合計	68,051	46,034	37,233	50,439
		純収支（①－②）	△ 1,449	5,774	1,046	1,790	

			H28	H29	H30	R元	R2	R3
施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ 〈単位:千円〉	市の収入		0	0	0	0	0	0
	（内、使用料収入）		0	0	0	0	0	0
	市の支出		43,625	37,698	39,995	51,254	46,576	35,960
	（内、指定管理委託料）		37,771	37,698	39,978	51,237	45,725	35,943
	実質経費（歳出－歳入）		43,625	37,698	39,995	51,254	46,576	35,960

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	—	再オープンに向けて工事側と調整しながら設備維持のため保守点検を適宜行った。備品管理や修繕業務についても、適正に実施。	—	工事にかかる設備や仕様の確認等、市と適宜協議し、工事が順調に進められた。備品台帳も整備できている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		A	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	—		—	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	新型コロナウイルス感染防止対策のほか、事業を含めオープンに向けた準備に対応するよう体制を整えた。	B	防火管理者の配置はできている。事業やオープン準備などの職員体制も整備できている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	迅速に対応できるような連絡体制を整えているほか、仮事務所のある文化会館の消防訓練に参加した。	B	必要な連絡体制の整備はできている。避難訓練も他館と合同で実施。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	事業参加者から頂いた意見・要望について迅速な対応に努め、サービスの向上を図った。	B	事業参加者から募った意見・要望に対して真摯に向き合い、サービスの向上に努めている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	長期休館中であつたが、文化会館内の施設を利用して、可能な限り講座等事業を開催した。	A	休館中であつたが、他館を利用して講座等、多数の事業を開催していた。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報保護方針を順守し運用した。また、逐次、事業の開催情報や感染症対策についての対応をHPに掲載し周知に努めた。	B	ホームページやSNS、市広報紙等を多数の広報媒体を活用した情報発信が適切に行われている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	適切に執行した。	B	収支計画に基づき適正で、経理処理も適切にできている。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B			

「評価」欄の記号の意味

「A」=協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」=協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」=協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「—」=当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	再整備工事による休館中であるが、他館の会議室などを使って講座を実施するなど、工芸(クラフト)の普及、文化振興に努められた。事務所移転をはじめ、再開時の事業準備など適切に行っていた。
総合評価	
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「A」=非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」=良好である又は成果があった。

「B」=取組状況の水準が普通である。

「C」=改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和3年 月 日～令和 3年 月 日

実施の有無	主な回答	主な対応
無し		
回答者数		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置